



「民生委員・児童委員」「主任児童委員」 の活動を知っていますか？

金沢区は257名の民生委員・児童委員、主任児童委員が16のエリアに分かれて活動しています。
私たちには守秘義務があり、プライバシーは守ります。安心してご相談ください！

相談役として

お困りごとの相談にのり、ご利用できるサービスやいろいろな情報をご提供いたします。



生活支援

生活に困ったときは、実情に応じ、公的貸付制度や生活保護などをご案内します。

パイプ役として

ひとり暮らしの高齢者や、障がいのある方を訪問するなどして、見守りをしています。必要に応じて各関係機関におつなぎします。

子育て支援

不登校・いじめ・児童虐待や子育てに不安のある方は、気軽にご相談ください。また、子育てサロンでの仲間づくりを支援しています。

ひとりで悩まないで

配偶者からの暴力（DV）や困ったことがあれば、まずはご相談ください。

あなたの地区の担当民生委員・児童委員、主任児童委員については、
金沢区役所福祉保健課（TEL 045-788-7820）にお問い合わせください。

コロナ禍の民生委員・児童委員活動

坂の多い高齢化の進んだ街。買物に苦労されている方々のために、コンビニエンスストアと区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、地域がタッグを組んで週1回移動販売車を運行しています。混み合うこともなく、気軽に便利に買物を楽しめると評判も上々です。民生委員・児童委員は、買物の手助けをしながら困りごとの相談にのるなど、新しいコミュニティで「つながる」お手伝いをしています。

感染の不安から外出を控える高齢者が多く、家でテレビやスマホに接する時間が増え、通販トラブルとワンクリック詐欺についての相談が続いてありました。すぐ消費生活センターにつなぎ、被害には至りませんでした。

報道では、民生委員を装った詐欺もあり、普段から顔の見える活動を通して、互いの信頼関係を築くことが大切だと痛感しました。



緊急事態宣言発令に伴い、民生委員の活動の仕方が変わり、地域の行事も中止になりました。特にひとり暮らし高齢者宅への訪問は、万が一を考え、電話や手紙などによる、対面しない活動に変更しました。宣言解除後は、ソーシャルディスタンスを保ち短時間の会話にしています。生活スタイルが大きく変わった状況に即した活動を今後も模索しながら続けていきたいと思っています。

先が見えない中での葛藤は民生委員として新任も再任も同じ。このような状況でも前任委員から新任委員へ地域への思いがしっかり引き継がれ、電話など様々な形で見守りが継続されています。

地区研修で介護保険を学び、安心して生活するうえで欠かせない制度であり、また私たちがその制度へのつなぎ役であることに思いを強くして



不登校、ひきこもり等困難を抱える若者やその家族のための総合窓口である「よこはま南部ユースプラザ」の施設長を招き、お話を伺いました。コロナ禍の今、休校や失業がきっかけでひきこもる若者が増加しているそうです。

このような時だからこそより一層の支援が必要です。今、私たちの活動は自粛傾向ですが、withコロナの新しい地域福祉活動の必要性を感じました。

赤ちゃんを抱き、2歳位の男の子の手を引いたお母さんをバスで見かけました。席を譲ると最初は遠慮されていましたが、「子育てサロンで会いましたよね！」という一言から話が弾み、無事に座ってもらうことができました。

思いやる心もつながりがあれば届きやすくなる。社会的距離が必要だからこそ絆は密に。それを実感した一日でした。



広告

研修企画部会の活動

令和2年度は「新任研修会」と「地区情報交換研修」を企画いたしました。

「新任研修会」

令和2年8月24日(月) 於：金沢公会堂

新任の方に、民生委員・児童委員、主任児童委員と区役所とのつながりを知ってもらい、今後の活動に役立ててもらうことを目的に、区の福祉保健課、高齢・障害支援課、こども家庭支援課の3課に講演をお願いしました。

一斉改選の直前に委嘱された方にも参加を呼びかけるなどし、総勢64名での開催となりました。コロナ禍の中、三密を避けるため金沢公会堂を使用するなど、様々な工夫をして開催いたしました。



感想としては…

- 事前に研修会資料を配布してもらい分かりやすかった。
- 新任としてすぐに研修会を開かれるより、期間が空くことで活動していて分からなくて困っていたことの解決に繋がった。
- 新任研修にしては、かなり難しいのでは。とのことでした。総じて今後の活動に活かせる意見が多数でした。

「地区情報交換研修」(延期)

令和3年1月22日(金) 於：金沢区役所内会議室

昨年度実施した「仲間と学びあう」活動課題別研修は、多くの民生委員・児童委員が他地区の仲間と話し合うことができ、大変有意義な研修でした。今年度も実施したいとの声があがったため、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、参加を各地区2名に絞り、更に計8グループを4会議室に分散するなど三密を避け「地区情報交換研修」として実施することにしました。

情報交換のテーマは「災害時の対応のあり方」、「新型コロナウイルス禍における新たな見守り方法」としました。

しかしながら、新型コロナウイルス「緊急事態宣言」が再発令されたことに鑑み、今回の研修は延期(実施時期については今後調整)といたしました。

主任児童委員の活動

「地域の子育て応援隊」として活動する主任児童委員。各地区特色あるその姿をご紹介します!

富岡第一: 安心で健やかな暮らしの良き相談相手となれるよう、民生委員とともに元気スクスクやだれでも食堂などの地域活動をしています。**富岡第二**: 7月に育児サロン再開! 10月は恒例のママの健康チェックもできて一安心。地域の協力体制にも感謝です。**富岡第三**: 毎週金曜日に子育てサロン「すくすく広場」を開催。フリースペースでお母さんと子ども達の遊びやおしゃべりの輪が広がります。**富岡西・能見台**: 新任主任児童委員が新たな「つながり作り」を目指します。乞うご期待!**能見台**: 子育て教育に関して平日頃から意識の高い地域ですが、さらに繋がりを深めていける様に尽力してまいります。**金沢シーサイドタウン**: 子育てサロンが多く、地域8保育園や市大と協働したイベントが広がり、パワフルママの活躍が光っています。**金沢東部**: 新任の私達は赤ちゃん訪問や小学校支援等を通じて、まずは気軽に相談いただける関係作りに励んでいます!**金沢中部**: 町内会・保育園、民生・保活さん一丸となって「親子の遊び場」「チャイム」を開催。HPで情報発信も!**金沢南部**: 細心の注意を払った新しい生活様式での活動を再開。親子のひろばでは再認識されたブログで情報の発信をしています。**金沢**: 子育てサロン「友だちつくろう」を開催しています。お子様と一緒に息抜きにいらっしゃいませんか。**六浦東**: コロナ感染予防対策をしながら未就園児親子のフリースペースわくわくキッズを7月から月一回開催。子育て支援中です!**六浦**: 毎月一度のハイハイクラブはママ達の息抜きの場。子どもへの思いをシェアできるよう、お手伝いをさせて頂いています。**六浦西第一・第二・第三**: 子育てサロン「はぐ・はぐ」は、場所を町内会館に変えて、9月から再開しました。お気に入りのおもちゃ持参で、新しい繋がりもできています。走ったりコロコロ転がったりして過ごす時間、集まる場所があるだけでいい、を再認識! 子育てパパママに、エールを送り続けます。**釜利谷**: 広い釜利谷地区、民生委員と共に活動しています。中学校との連絡会、園庭開放でのサロンが再開しました。



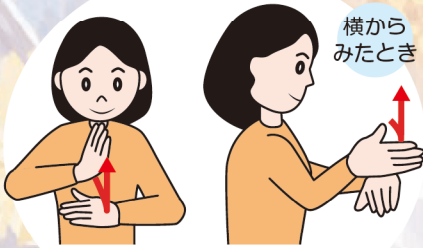
広告

共に生きる社会に

広げよう豊かなコミュニケーションを…

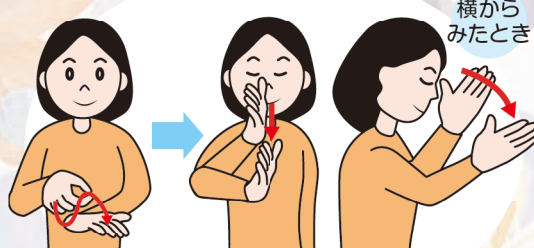
手話は、聴覚障害者にとって気持ちや考えを伝えるのに最も適したコミュニケーション方法です。一例ですが、ご紹介します。他にも筆談、身振り、絵（イラスト）、口話、空書などのコミュニケーション手段があります。前号（第55号）で、手話の特集をしたところ大変好評でしたので、今回は第二弾として掲載いたしました。

ありがとう！



右手を垂直に立て、小指側で左手の甲をトントンとたたく。

筆談をお願いします。



筆談

左手のひらの上で、右手でペンを持って何かを書くように動かす。

お願いします

右手を顔の前に垂直に立て、頭を軽く下げながら斜め下に出す。

すみません…



親指と人差し指で眉間をつまむようにし、指を伸ばして前に出す。

…へ行きたい



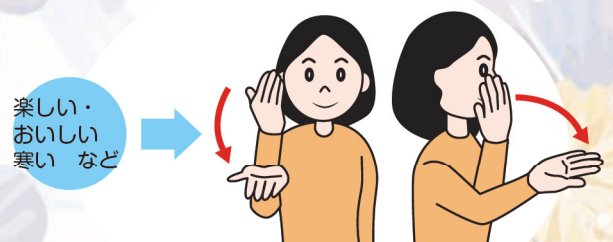
行く

右手の人差し指を伸ばして、斜め上に上げる。
※人差し指を立てて前に進める表現もあります。

～したい

右手の親指と人差し指を伸ばしてのどにあて、指を閉じながら下げる。

「…ですか？」と尋ねるとき



尋ねたいことあとの、右手の手のひらを手前に向けて顔の横におき、ひじを軸に前に出す。

参考資料「手話を学んでみよう！」神奈川県福祉子どもみらい局福祉部地域福祉課 発行

令和2年度 全員協議会

今年度の全員協議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催の形態で行われ、予算・活動方針などが承認されました。本来は、区民児協全員で議論する貴重な場なのですが、残念ながらこのような形となりました。また今回は一斉改選後、初の開催となりましたので、役員などの紹介リーフレットを議題に同封し、挨拶の代わりといたしました。

来年度こそは、コロナが収束し、全員で公会堂に集まれることを願っております。



地域の福祉、みんなで参加
赤い羽根 共同募金

令和2年度
街頭募金実績

221,142円

10月1日に、16のエリアの民生委員・児童委員の活動により、集まった募金総額です。今年度はコロナ対策として、二重マスクの上、フェイスシールドをつけました。首にかける募金箱のヒモは、両手を伸ばした長さに調整し、のぼりの横に静かに並びました。皆様の温かいご協力に感謝申し上げます。

編集委員

青木美以子 吉野 郁世 寺木 好子 長尾 理香
岡田真理子 香川 里美 昇 マサ子 加藤 律子
岩田 幸子 藤田 康之 佐野 国弘 緒方 芳樹
立松 成子 深津早百合 足助 次男 井川こずえ
加藤 悦子 水谷多美恵 足立 信子 崎原美佐緒

編集後記

例年より、約2か月遅れてスタートした、民児協だより第56号編集部会。各地区での訪問研修なども中止となり「地区だより」は残念ながら紹介することができませんでした。私たち委員の役割を、再認識する好機と捉えて前進していきたいと思っております。

令和元年12月に三年に一度の改選があり、新たなメンバーを加えての民児協だよりの作成となりました。これからも私たちの福祉活動の様子をお伝えし、心待ちにさせていただけるよう頑張っていきたいと思っております。

*この広報誌は、共同募金配分金から一部助成を受けて作成されています。